「つなげよう」笑顔と花の架け橋

大槌交流宿泊学習

５／２５・２６

今，そしてこれから
自分たちにできることを考えて

平成 29 年度　翠星　大槌交流活動兼宿泊研修計画

１　目　的

（１）被災地の復興に向けて様々な取組を行っている組織や人々の考え方や生き方から，郷土への思いやりや愛着を感じとり，自らの意識を高める。

（２）実際に被災地を訪問し，現地の人々との交流から風化しつつある東日本大震災の被災状況を自分の目で確認し，今後の被災地との関わり方について自分なりの考えをもつ。

（３）宿泊体験を通して集団生活のルールの確認や防災意識の高揚を図る。

２　日　程

第１日目　（５月２５日　木曜日）

８：００　太田中学校　出発
１２：００　スーパーマーケット・マストで昼食
１３：００　大槌学園到着，プランターの回収
１４：００　大槌町震災資料館見学，旧役場庁舎で献花・黙祷
１５：００　仮設団地訪問（和野，吉里吉里地区で夏のコンサートチラシ配布）
１６：３０　岩手県陸中海岸青少年の家到着　　入所式（岩手県下閉伊郡山田町船越２－４２）電話 0193-84-3311
１７：３０　夕食　休憩　研修　入浴　就寝準備
２２：００　就寝

第２日目　（５月２６日　金曜日）

６：００　起床　清掃　ベッド点検
７：００　朝食
７：５０　宿舎　出発
９：１７　三陸鉄道　震災学習列車乗車（釜石駅～盛駅）
１１：２０　大船渡市見学　　１２：００　昼食　　大船渡出発
１７：００　大田中学校　到着　　解散式（玄関先）

３　経　費　学年集金で集金済み　　バス代，昼食代，宿泊費等で１万円（詳細は別に）

４　事故防止及び救急対策

・緊急時マニュアルを作成し，緊急時の連絡を明らかにしておく。
・生徒個々の健康状態について，養護教諭から資料を準備してもらい，体調不良時に備える。アレルギー代替食の確認をする。

５　持ち物・服装

持ち物：着替え（Ｔシャツ２枚以上，太中Ｔシャツまたはワンポイント），軍手，タオル，ハンカチ，テッシュ，雨具，勉強道具，ドリンク（水・茶・スポーツドリンク），洗面&歯磨きセット
服　装：２日間とも体育着＆学校指定靴

６　参加生徒　１Ａ２４名　１Ｂ２４名　計４８名

７　引率教員　　校長：澁　江　研　　開　田　猛　夫　　奈　良　淳　一
大　野　芳　史　　斉　藤　佳奈子　　計５名

８　留意事項

・安全第一に，避難経路や衛生面に十分配慮する。
・参加については，各家庭や保護者の考えを尊重し，無理のないように配慮する。

平成 29 年度　翠星　大槌交流活動兼宿泊研修成果と課題

◎成果

生徒のレポートから次のような成果が見て取れます。

・被災地の復興に向けて様々な取組を行っている組織や人々の考え方や生き方にふれることで生徒の考えが深まった。特に今後の交流の在り方につい　て考えさせられた。
・郷土太田とのちがいを感じることで，ふるさとへの愛着や誇りをもつ生徒が増えた。
・宿泊体験を通して集団生活のルールを守ることの大切さや集団で泊まることの楽しさを実感することができた。
・被災地を実際に見たり聞いたりすることで，防災に対する意識が格段に向上した。

◎課題

・事前学習にもう少し時間をかけることで、生徒のさらなる気づきや考えの広がりが出てくるものと思われる。
・生徒の出した、今後の被災地にできることをどのようにして実現させてくくかが難しい。時間的な制約もあり、広げていくことは無理があるので、取捨選択が必要かもしれない。
・振り返りの時間を充実させ、来年度への活動に意欲を持たせたい。

学習列車
私達がで、作りました!
北三陸鉄道
遠野
わんこそば
岩手県
黙祷!
ランチタイム
仮設住宅

May 25th
ASAHI
出発式
マスト
大槌学園
旧役場庁舎
青少年の家
心を込めて祈りました